



2025年度 活動報告書

サイクリングで、
子どもたちの未来を変える。



もくじ

- 03 ビジョンとミッション
 - 04 理事長からのメッセージ
 - 05 2025年の歩み
 - 06 主なライドイベント
 - 07 チャレンジャーの声
 - 08 メンターとチャレンジャーの対話
 - 09 財務報告
 - 10 チームと役員
 - 11 サポーターのみなさま
-

ミッション

長距離サイクリングを通じて、児童養護施設や困難な状況にある子どもたちを支援し、日本の教育格差への意識を高め、子どもたちが自己肯定感とコミュニケーション能力を育み、自分の思い描いた未来へ自由にチャレンジできる社会の実現を目指します。

ビジョン

すべての子どもが、自分の思い描いた未来へ自由にチャレンジできる社会へ。

理事長からのメッセージ



高橋 陽介

Yosuke Takahashi

代表理事長 / Representative Director

2025年は、サイクリング・フォー・チャリティーが2015年に最初のプロジェクトを実行してから10年という大きな節目の年でした。

一人で東京から石巻まで走った最初の挑戦から、今では年間延べ178名がプログラムに参加するコミュニティに成長したことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は、軽井沢チャレンジに5名、しまなみライドに1名、北アルプスライドに2名と、計8名のチャレンジャーが施設出身の若者として参加してくれました。

さらに、過去にチャレンジャーとして参加した若者が、サポートカークルーやサブリーダーとして「支える側」に回ってくれました。

この10年で築いたコミュニティの確かな成果です。

また、組織としても大きな前進がありました。

8名のボランティアが救命救急・自転車ツアーガイド講習を修了し、安全面の体制が一段と強化されました。

松戸市の児童養護施設との交流会では、今年も自転車4台を寄付し、訪問を継続しています。

2025年は、はじめての赤字決算となりました。

これは、プログラムを大幅に拡大し、チャレンジャー支援・研修・安全対策へ意識的に投資した結果です。

健全な純資産を維持しながら、次の10年に向けた基盤づくりに取り組んでまいります。

引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

2025年の歩み

初プロジェクトから10年。

2025年は過去最多の178名がプログラムに参加し、10のイベントを開催しました。

以下は2025年の主な数字です。



2025年のハイライト

- 3月 春のライド（多摩湖）東京・多摩湖でシーズン開幕の日帰りライド。
7名のライダーが参加。
- 4月～5月 バーチャルライド（Strava）GW期間にStravaを使ったオンラインイベントを開催。
30名以上が参加し、合計3,929kmを走行。
- 5月 北アルプスライド（1泊2日）長野県大町市の北アルプスの麓を巡るライド。
8名のライダーと2名のチャレンジャーが参加。
- 9月～10月 練習会（計3回）・安全研修 葛西臨海公園・二子玉川・多摩川などで本番に向けた練習会を3回開催。
8名のボランティアが救命救急・自転車ツアーガイド講習を修了。
- 10月 軽井沢チャレンジ（3日間）葛西から軽井沢（標高950m）まで約230kmを走破。
雨の初日に22名のライダー・5名のチャレンジャー・サポートカー2台が完走。
- 10月 しまなみチャレンジ（4日間）尾道～今治～尾道のしまなみ海道を4日間で走破。
8名のライダーと1名のチャレンジャーが参加。
- 10月 晴香園交流会（松戸市）松戸市の児童養護施設「晴香園」を訪問。
自転車の組み立てワークショップと交流会を開催。
5名のCFCメンバーと5名のチャレンジャーが参加。
- 11月 年次報告会 チャレンジャーがサポーターを前に発表。
1年間の挑戦を自分の言葉で語るプログラムの集大成。
12名のライダーと5名のチャレンジャーが参加。

主なライドイベント

CFCの活動の中心は、長距離ライド。

2025年は10のイベントを通じて、施設出身のチャレンジャーと大人のメンターが共に走りました。



軽井沢チャレンジ

10/11 - 10/13・3日間・葛西 軽井沢

3日間で約230kmを走破。
雨の初日も全員完走。
リピート参加の2名がサブリーダーと整備を担当しました。

ライダー22名・チャレンジャー5名



しまなみチャレンジ

10/17 - 10/20・4日間・尾道 今治

世界的に有名なしまなみ海道を4日間で走破。
瀬戸内海の絶景を背景に、チームで走り抜きました。

ライダー8名・チャレンジャー1名

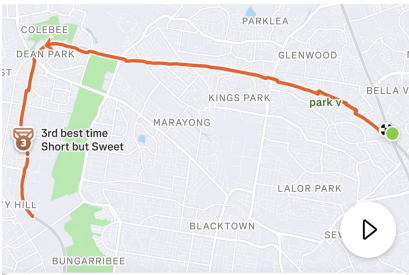


北アルプスライド

5/17 - 5/18・2日間・長野県大町市

北アルプスの麓を巡る1泊2日。
チャレンジャー2名が参加し、シーズン序盤の練習機会となりました。

チャレンジャー2名・1泊2日



バーチャルライド・Strava

5/4 - 5/10・オンライン開催

GW期間のオンラインイベント。
30名以上が参加し、Stravaで合計3,929kmを走行しました。

延べ30名以上・3,929km



練習会・複数開催

9月 - 10月・3回・東京近辺

葛西臨海公園・二子玉川・多摩川で本番に向けた練習会を3回開催。
チャレンジャーが段階的に距離を伸ばしました。

延べ36名



年次報告会

11/9 日曜・東京都新宿区

チャレンジャーがサポーターを前にスピーチ。
1年間の挑戦と学びを自分の言葉で語る、プログラムの集大成。

ライダー12名・チャレンジャー5名



晴香園交流会・松戸市

10/25 土曜・松戸市 児童養護施設 晴香園

松戸市の児童養護施設「晴香園」を訪問。
子どもたちと一緒に自転車の組み立てワークショップを開催し、今年も4台の自転車を寄付しました。
CFCメンバーが組み立てや乗り方を教え、プログラムを通じて深い交流の機会となりました。

CFCメンバー5名・チャレンジャー5名・自転車4台寄付

チャレンジャーの声

イベント後の振り返りやアンケートから、2025年のチャレンジャーの声を紹介します。
プライバシー保護のため、個人名はイニシャル表記としています。

「雨の中を走るの初めてなんで、めっちゃ気持ち良いです！」

Sさん（チャレンジャー1年目）・軽井沢チャレンジ Day 1（雨）

「自分で判断してハンドサインを出せたときがあった。

100km完走した！」

Yさん（チャレンジャー1年目）・軽井沢チャレンジ Day 2

「最後まで諦めずに走りきることができた。
ハンドサインも自分から出せた。」

Sさん・軽井沢チャレンジ Day 1

「サポートカーメンバーとして参加。
前は走る側だったけど、今度はみんなを支える番。」

Eさん（元チャレンジャー、2025年はサポート参加）

「片手運転が難しい。
クロスバイクだと怖くてできない。
次回までに練習する。」

Sさん・練習会 9月

「前の人との距離を一定にして、自分のペースを見つけたい。」

Sさん・軽井沢 Day 1（Day 2への目標として）

メンターとチャレンジャーの対話

2022年に導入したメンター制度では、各チャレンジャーに2名の大人がついて、練習会から本番、そして報告会まで一緒に伴走します。

下記は2025年輕井沢チャレンジでやり取りされた、実際のメンターからのフィードバックの一部です。個人情報保護のため、お名前はイニシャル表記としています。

「初めての長距離ライドとは思えないほど軽々と完走しましたね！どんな状況にも良い面を見つけ出せることはひとつの才能です。

初対面の大人達とも臆せず笑顔で話せることも長所の一つです。」

Mメンター Sさん（軽井沢 Day 1）

「100km走破おめでとう！...あなたのメンターになれて本当によかった。

今回一緒に過ごせたことは私にとっても大きな財産となりました。

勇気をもらいました。」

Eメンター Yさん（軽井沢 Day 2）

「サポートカーメンバーとして参加してくれたこと、心強かったし嬉しかったよ。

みんなの体調をみては声かけしたり、カイロを購入してくれたりと、率先して動いてくれてありがとう。」

Mメンター Eさん（元チャレンジャー、サポート参加）

「CFCはリベンジの場を提供する。

大人ライダーとして参加することで、逆にチャレンジャーを支える側になってほしい。」

Nメンター Eさん（元チャレンジャー）

上記は2025年シーズンに記録されたメンターとチャレンジャーの対話の一部です。

財務報告

NPO法人サイクリング・フォー・チャリティーの第6期（2025年1月1日～12月31日）の活動計算書および貸借対照表の概要です。

区分	科目	FY2025（円）	FY2024（円）	増減
経常収益	受取会費	230,000	223,000	+3.1%
	受取寄附金	919,860	642,679	+43.1%
	事業収益	634,635	0	（新規）
	その他収益	5,065	1,288	+293%
	経常収益計	1,789,560	866,967	+106%
経常費用	事業費	1,819,901	605,807	+200%
	管理費	114,319	91,737	+25%
	経常費用計	1,934,220	697,544	+177%
損益	当期経常増減額	（ 144,660 ）	169,423	—

貸借対照表	2025年12月31日	2024年12月31日
現金預金	¥3,025,367	¥3,170,027
資産合計	¥3,025,367	¥3,170,027
負債合計	¥0	¥0
正味財産合計	¥3,025,367	¥3,170,027

財務に関する補足説明

2025年は、NPO法人化以来はじめての赤字決算（ ¥144,660 ）となりました。

一方で、経常収益は前年比+106%と過去最高を更新（ ¥1,789,560 ）。

これは寄付金（ +43% ）に加え、事業収益が初めて¥634,635計上されたことが牽引しました。

事業費は前年比+200%（ ¥1,819,901 ）に拡大し、研修費・人件費・旅費交通費・会議費などプログラム拡大に伴う投資が中心です。

純資産は¥3,025,367を維持しており、引き続き健全な財務基盤を保っています。

なお、当法人は設立以来一度も助成金や借入金を受けておりません。

出典：決算報告書2025年 令和7年.pdf・東京都へ提出済の監査済決算書類より。

チームと役員

2025年現在、CFCは5名の理事・監事と複数の正会員・賛助会員によって運営されています。

役員

高橋 陽介	理事長
横尾 明久	副理事長
洪 啓棠	理事
鎌田 淳	監事
山本 健太郎	監事

正会員

福田 さとし	キース・グロッグ	西村 りか
一杉 美樹	高橋 寿々子	神田 弘志
榎本 純也		

賛助会員

上野 晶子	高松 英彦	望月 淳
西田 宏昭	山本 薫	澤田 玲子
今野 奈生子	松浦 まみ	森田 裕美

法人情報

法人名	特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティー
設立	2019年10月21日（NPO法人化） / 2015年（最初のプロジェクト）
所在地	東京都
事業年度	1月1日～12月31日（暦年）
銀行	楽天銀行 普通預金
連絡先	cyclingforcharityjapan@gmail.com
ウェブ	www.cyclingforcharityjapan.com

サポーターのみなさま

2025年も、個人サポーター・サイクリスト・サポートカークルー・チャレンジャーのご家族・メンター・児童養護施設の職員の皆さまに支えていただきました。心より感謝申し上げます。

2025年メンター

2025年シーズンには延べ14名のメンターがチャレンジャーに伴走しました。多くは上記の正会員・賛助会員、または毎年支援くださるライダーの方々です。お一人お一人の伴走が、チャレンジャーの成長を支えています。

個人寄付者

2025年の個人寄付総額：¥919,860

活動開始以来、これまでに延べ645名の方々からご寄付をいただけてきました。皆さまのご支援が子どもたちのチャレンジを支える原動力となっています。心より感謝申し上げます。

ご参加・ご支援の方法

チャレンジャーとして	困難な状況にある若者として、ライドに参加。
ガイド・メンターとして	経験豊かなサイクリストとして、チャレンジャーの安全をサポート。
寄付・支援者として	寄付を通じてプログラム費用と自転車寄付を支える。
スポンサーとして	企業・団体としてイベントを支援。



さあ、一緒に走ろう。

あなたのペダルひとこぎが、

子どもたちの未来につながっています。

参加・支援する

cyclingforcharityjapan@gmail.com

www.cyclingforcharityjapan.com

facebook.com/cyclingforcharityjapan ・ instagram.com/cyclingforcharity

特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティー

東京都 ・ 事業年度：1月1日～12月31日

© 2026 NPO法人 サイクリング・フォー・チャリティー